

調査・研修等計画届出書

令和 2年 1月 27日

瀬戸市議会議長 様

議員名 中川 昌也 

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記


| | | |
|--|--|----------|
| 期 日 | 令和 2年 2月13日から 2月14日まで (1泊2日) | |
| 調査先・研修名 | みどりのまちづくりセンター (練馬区)・埼玉県朝霞市 | |
| 会場名 (会場所在地) | みどりのまちづくりセンター・朝霞市役所 | |
| 調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて) | 2/13 みどりのまちづくりセンター 調査項目：まちづくりセンターの活動について 調査目的：練馬区民が住み続けたいと思えるような快適な生活環境と豊かな地域社会を実現するために、まちづくりセンターは区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を推進されており、瀬戸市にはそのような団体は存在しないので、様々な手法等について勉強するため | |
| 議長名の依頼 | <input checked="" type="radio"/> 要 ・ 不要 | 依頼先 (名称) |
| | | |
| 同行者名 | 藤井篤保 | |

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和2年2月18日

瀬戸市議会議長 様

議員名 中川昌也 

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

| | |
|---|---|
| 期 日 | 令和2年2月13日から2月14日まで（1泊2日） |
| 調査先・研修名 | みどりのまちづくりセンター |
| 会場名（会場所在地） | みどりのまちづくりセンター |
| 調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて） | 調査項目：まちづくりセンターの活動について 調査目的：練馬区民が住み続けたいと思えるような快適な生活環境と豊かな地域社会を実現するために、まちづくりセンターは区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を推進されており、瀬戸市にはそのような団体は存在しないので、様々な手法等について勉強しました。 |
| 調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等 | |
| <ul style="list-style-type: none">・区・住民・事業者が協働するためのポイントは、対等の関係で共同したビジョンを出す。・地域課題の内容は、まちづくりを何とかしたいと思った方々から様々な内容である。・まちづくりセンターの周知方法は、HP、FBなどのSNSやチラシを配布している。・自治会との係わりは、直接的に係わりはない。・まちづくりセンターの運営資金は、補助金、委託費、自主財源で運営している。・まちづくりセンターの成果は、まちづくりの基盤を作り、空家活用を行った | |

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

- ・市民によるまちづくりを瀬戸市では行政が行っているが、練馬区ではまちづくりセンターが担っている。
- ・住民との協働において、区・住民・事業者がそれぞれお互いの強みを活かす視点で進められている。
- ・みどり事業の一つとして大泉学園地域において、個人宅の庭をオープンガーデンし観光に寄与されている。
- ・みどり事業において、緑を愛する方々を集め、草刈り・樹木剪定・イベントなどの事業を行われている。
- ・まちづくり活動助成金の成果を市民に見えやすくするよう取組まれている。
- ・公共施設の建設や改修には、障がい者に現地立ち合いをしていただき、意見聴取をされている。

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

まちづくりセンターでは、練馬区内でまちづくり活動されていらっしゃる方々が何処にいて、何をしている事を可視化するため、地図に落とし込みをされています。一目で活動状況がわかりやすく瀬戸市においても可視化をしなければならないと感じました。まちづくりセンターの役割は、まちづくりをしたいと思った方が踏み出す第一歩とされており、まちづくりをしたいと思う気持ちを有効に活用していただける取組みをされておられ、瀬戸市においても、まちづくりセンターのような役割をしていただける窓口の更なる充実が必要であると感じた。瀬戸市の問題は行政任せでなく、自分たちで考え実行できる仕組み作りの再考が必要と感じた。

調査・研修等報告書

令和2年2月18日

瀬戸市議会議長 様

議員名 中川昌也



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。
記

| | |
|---|--|
| 期 日 | 令和2年2月13日から2月14日まで（1泊2日） |
| 調査先・研修名 | 埼玉県朝霞市 |
| 会場名（会場所在地） | 朝霞市役所 |
| 調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて） | 調査項目：朝霞市緑の基本計画について 調査目的：瀬戸市では現在緑の基本計画を2020年3月改訂を目指し取り組んでいるが、これまで市民との協働や大きな実績はなく、積極的に取り組んでおられる朝霞市の手法を勉強してきました。 |
| 調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等 | |
| <ul style="list-style-type: none">・市民参画により維持管理については、ボランティア団体に一部を無償で担っていただいている。・市民活動団体との連携は、様々な場で連携を図っておられる。・基金残高は、約2000万円・ボランティア団体数は、公園17団体・緑地4団体・特徴的な事業は、基地跡地（19ha）の一部の有効利活用を市民が主に委員会を作り行っている。 | |

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

朝霞市は花とみどりのまちづくり構想に積極的に取り組んでおられ、市民との協働においても大いに役立っておられる。

瀬戸市でも市民ボランティアはたくさんおられると予想でき、市民の方々が自由に取組める環境づくりを行う事で瀬戸市の向上が図られるものと感じています。

みどりを活かした市民が寄り添える場作りに協力していく所存です。

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

・令和2年2月22日に道路沿いの基地跡地の一部をシンボルロードとして長さ680メートル整備され、マルシェやワークショップなど市民の憩いの場として新たな誕生がなされ、観光にも寄与する事が考えられるので、瀬戸市においても瀬戸川沿いを利用したマルシェ等市民の憩いの場づくりが急務であると感じた。

・広大な基地跡地の一部である「朝霞の森」の有効な利活用は市民が主となり運営会議を設置され、利用方法からすべて仕組み作りが成されており、瀬戸市においても憩いの場の確保と市民主導型の実現が必要である。

・道路の街路樹の一部が花壇になっており、綺麗な街並みが構成されている。市民ボランティアさんによる維持管理がなされており、瀬戸市でも町並み美化を追求し、道路沿いなど花壇（花の植え込み）として市民の方々に維持管理をお願いし環境美化を図ることが望ましいと感じた。